

「こども本の森 遠野」の開館。  
おめでとうございます。

読書を通して得られる知識や体験は  
スマートフォンで得る情報とは比べものに  
ならないくらいの価値があります。

日本文学の原点である遠野の郷に、  
子どもたちにかしこまりと本を讀むことの  
出逢い場をつくりたい。という思いから、  
この計画はスタートしました。

遠野には私達の多くが忘れてしまった  
「心の世界」が残っています。  
子どもたちには、古い民家を再生した  
この「こども本の森 遠野」で、父さんの  
本を讀みながら、過去を学び、今を考え、  
未来を想像して欲しいと思います。

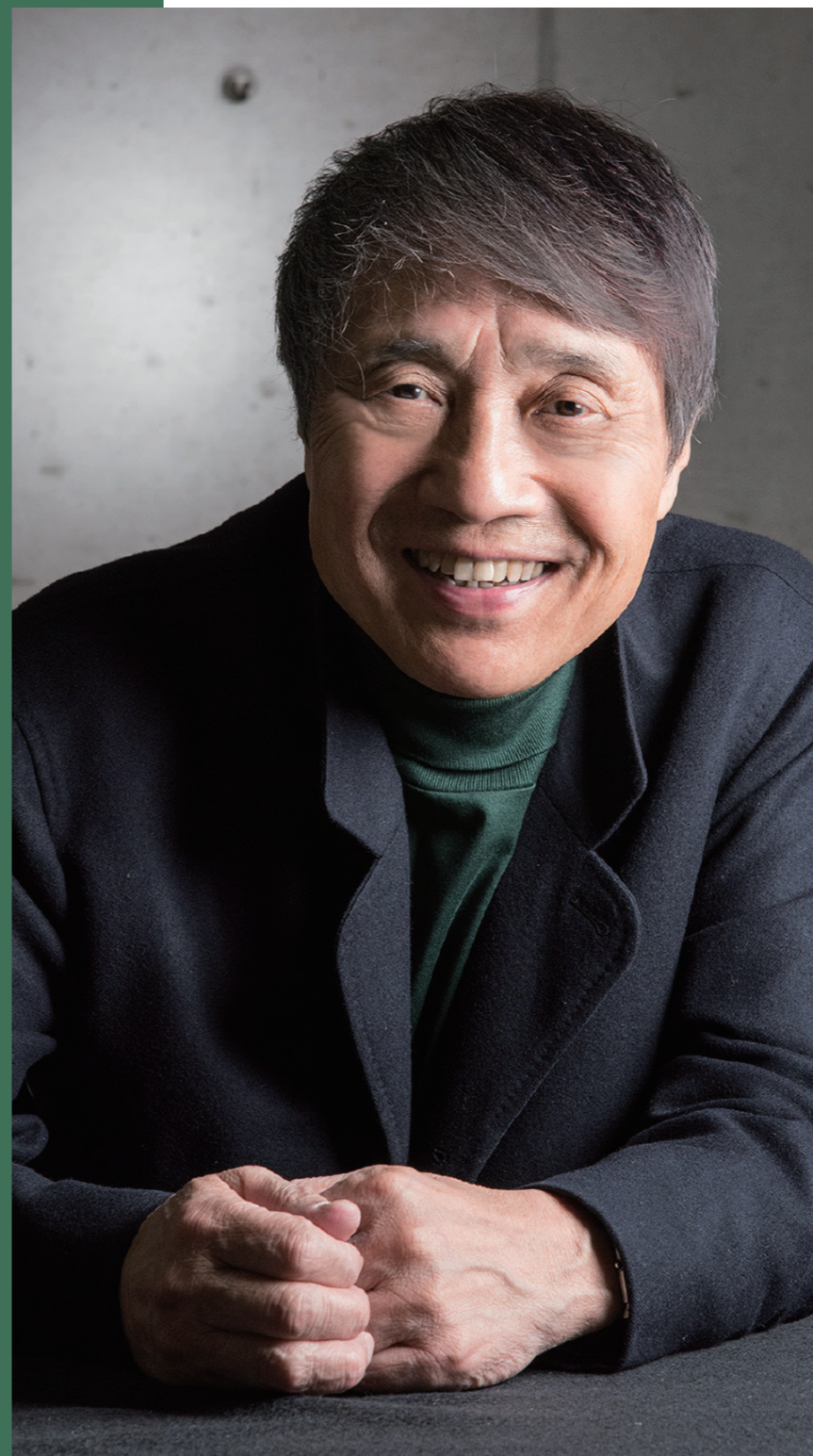
せむ河回も河回も通って、自分の心に残る  
大切な一冊を探してみてください。

Tadao Ando

安藤 忠雄



25  
07  
2024



世界的建築家  
安藤 忠雄さん

あんどう ただお  
Ando Tadao

● Profile プロフィール

昭和16(1941)年大阪生まれ。17歳でプロボクサーとして活動したのち、独学で建築を学び、昭和44(1969)年「安藤忠雄建築研究所」を設立。代表作に「光の教会」「フォートワース現代美術館」「プンタ・デラ・ドガーナ」など。平成9(1997)年から東京大学教授、現・名誉教授。平成12(2000)年、瀬戸内海の破壊された自然を回復するための植樹活動「瀬戸内オリーブ基金」を設立。平成23(2011)年「桃・柿育英会 東日本大震災遺児育英資金」実行委員長。

昭和54(1979)年/「住吉の長屋」で日本建築学会賞、平成7(1995)年/プリツカー賞、平成17(2005)年/国際建築家連合(UiA)ゴールドメダル、平成22(2010)年/文化勲章、令和3(2021)年/レジオン・ドヌール勲章コマンドールなど受賞多数。

## 主な出来事を紹介 本の森ができるまで

平成31(2019)年

1月 「こども本の森構想」が遠野文化研究センターの赤坂所長と同センター西館顧問を介して本市に提案される

令和元(2019)年

7月 本田市市長が安藤忠雄建築研究所を訪問。安藤さんから「こども向け本の施設」寄贈の申し出を受ける

8月 安藤忠雄氏講演会 at 遠野市「遠野市から地方都市の可能性を考える」を本市で開催

11月 「市こども本の森構想推進準備室」設置

2(2020)年

1月 有識者による「遠野市こども本の森構想懇談会」を設置(～令和3年3月/計4回開催)

ワーキンググループメンバーで活用など検討(～令和2年11月/計9回開催)

8月 安藤忠雄建築事務所と本市が施設寄付の「覚書」を締結

9月 市議会9月定例会で「負担付きの寄付を受けることについて」議決

10月 寄付を全国募集(本と寄付金)着工

11月 「こども本の森 遠野」起工式

12月 市議会12月定例会「遠野市こども本の森遠野条例」議決

3(2021)年

2月 市民ワーキンググループ主催「こども本の森を語る会」開催(計3回)

4月 上棟セレモニー

6月 安藤忠雄建築研究所からの寄付採納

7月 市民主体の「こども本の森 遠野を育てる会」発足

「こども本の森 遠野」オープン

## たくさんのご厚意に支えられ開館 本の森への寄付実績

本(本年7月末現在)

約18,000冊

うち、世界36カ国の駐日大使館から355冊

寄付金(本年7月末現在)

約3,400万円



① 夢や希望を発表する小学生 ② お山節を披露する遠野小児童 ③ 開館を祝う一日市南部ばやし ④ わくわくいっぱいフェスタ会場で楽しむ子どもたち

## 本の森遠野公式キャラクターの愛称決定!

市内小学生が本の森公式キャラクターの愛称を考案。389案の中から選ばれた愛称と命名者を紹介します。



### 愛称

① かつぶー(カッパ淵) ② もーりせんせい(佐々木喜善) ③ ざわっこ(座敷わらし) ④ だつたばった(山男、天狗) ⑤ こもるん(雪、かまくら) ⑥ ししどん(しし踊り) ⑦ のきのき(遠野の木)  
※( )内はキャラクターのモチーフとなったもの

### 命名者

① 小笠原葵さん(遠野北1)・佐藤袖咲さん(遠野南3) ② 長山輝飛さん(遠野3) ③ 安藤朔大朗さん(遠野北6) ④ 大坊彩葉さん(花巻清風支援学校遠野分教室6) ⑤ 菊池彩輝さん(青笹3) ⑥ 阿部千尋さん(宮守5)・佐々木琉惺さん(上郷6) ⑦ 菊池宜晃さん(遠野6)

家マルシエVわくわくいっぱいフェスタ——が開かれ、たくさんの方々が笑顔が広がりました。こども本の森は大阪市に次いで日本で2カ所目。阪神淡路大震災と東日本大震災で被災した子どもたちに寄り添い、支援を続けてきた安藤さんが、築120年を数える明治期の町家・旧三田屋を改築し、本市に寄贈してくれました。部材の一部が活用され、古くて新しい心躍る施設となっています。子どもも大人も敷地内で自由に読書を楽しむことができます。駐車場と庭は整備中で、8月中旬に完成予定。今後は、本を読むだけでなく、子育て支援や生涯学習、地域の文化を学ぶ拠点としても活用が進められます。



こども本の森 中之島館長(司書・学芸員)  
前川千陽さん  
大阪市

古い物と新しい物が融合していてとても素敵な施設でした。こども本の森中之島と遠野と一緒に何かできればと思っています。



だいつけ 佐々木大輔さん  
はるおみ 晴臣くん  
東京都(本市出身)

こんな空間はなかなかない。選書もしっかりしていて親子で楽しめる。すごくいい。帰省のきっかけにもなる魅力を感じます。



上\_市内と沿岸部の子どもたちによるテープカット・くす玉・バルーンセレモニーのオープニング

セレモニーでは、▽遠野小児童のお山節▽市内園児による開閉会の言葉▽テープカットやくす玉、バルーンセレモニー▽一日市南部ばやし——などが行われ、子どもたちが大活躍。市内と沿岸市町村の小学生21人は、自分の夢を堂々と発表しました。オープンを祝う地域独自の催しも▽穀町あんべがい市▽若手農



さら 津田紗良さん  
釜石市  
(唐丹小6年)

読書が好きです。特に小説が好き。本の森は本がたくさんあってすごい。家族でまた来たいし、友達にも教えたいです。



あかね 荒田明音さん  
新穀町  
(遠野小2年)

すごくおもしろい場所でした。毎日来たいくらい。興味がある本がいっぱいありました。ここにある本を全部読みたいです。

## 「こども本の森 遠野」 オープン華々しく

世界的建築家・安藤忠雄さんと本市が連携して整備した「こども本の森 遠野」(以下、本の森)が7月25日、中央通りにオープンしました。

### ● Interview

本の森オープン当日に来館した4人から話を聞きました。

構想から約2年半、世界的建築家・安藤忠雄さんと連携し、整備を進めてきた「こども本の森 遠野」が7月25日オープンしました。オープン当日は、子どもたちが主役のセレモニーや、市民企画のイベントが行われ、地域をあげて新たな文化施設の完成を祝いました。

# 本の森に 行って みた

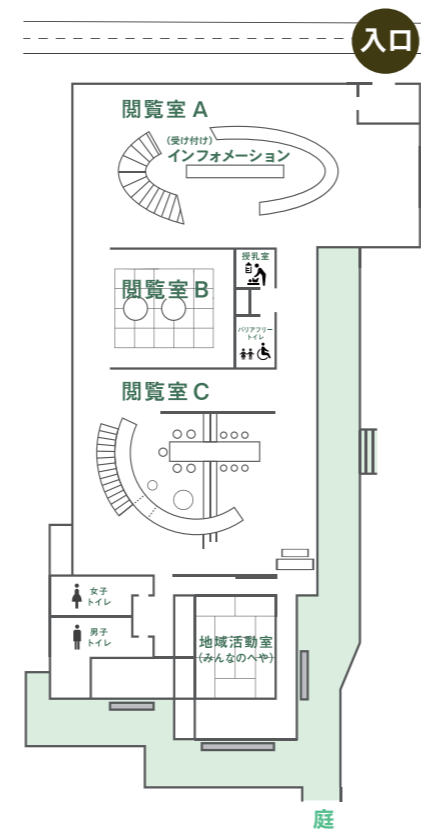
古民家のようなたたずまいの館内に  
一歩足を踏み入れれば一面に広がる本。  
完成した本の森を紹介します。

こども本の森 遠野  
Tono Children's Book Forest



## 本館 1階

【フロアガイド】  
正面エントランス／インフォメーション／閲覧室／男女トイレ／バリアフリートイレ／授乳室／地域活動室



①\_高さ4.5mの本棚やらせん階段が特徴的な閲覧室A ②\_閲覧室Bは四方に本棚が並ぶ畳部屋  
③・④\_家族でさまざまな仕掛けを楽しめる閲覧室C。36カ国から寄せられた本も並ぶ ⑤\_古民家の雰囲気の色濃く残す地域活動室 ⑥\_旧三田屋の土間タイルが軒下に並ぶ

## 位置図 Access



徒歩何分？ 高校生が歩いて計測しました

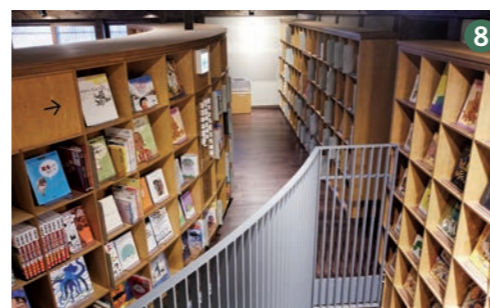
- 遠野駅から約7分
- 市役所本庁舎から約3分
- 元気わらすっこセンターから約4分
- 市民センターから約4分

取材協力 遠野高校(新しい『遠野物語』を創るプロジェクト「あなたが広報大使」グループ)

好きであ。本の森♡ 本の森に行ってきました!

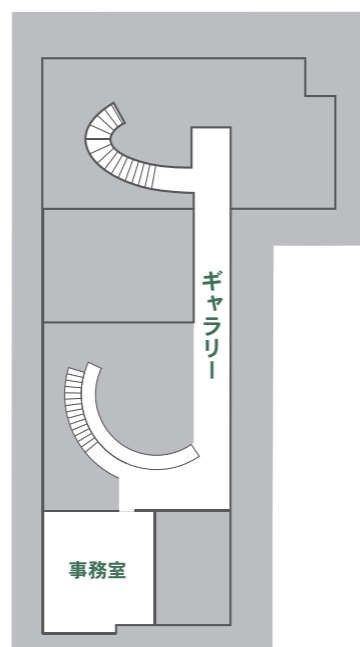


⑦～⑨\_2階ギャラリーにもたくさんの本。イスに座って読書もよし、寝転がっても良しの本の森



## 本館 2階

【フロアガイド】  
ギャラリー／事務室



## いちの蔵

【フロアガイド】  
フリースペース1  
階・2階／トイレ



⑩・⑪\_吹き抜け構造で開放的な1階と2階 ⑫\_趣きある蔵は飲食もできるフリースペース。団体の集まりなどで貸し切り利用が可能

## 建物概要

- ★所在地 遠野市中央通り1番16号
- ★構造 木造地上2階建て
- ※築120年の古民家(旧三田屋)を改築。部材の一部を再利用
- ★延べ床面積 本館498.10平方m  
いちの蔵109.44平方m
- ★駐車場 11台分

全国からの寄贈本を中心に、約13,000冊を13のテーマごとに蔵書！

# 本の森で出会える本



テーマ1

**遠野と東北**  
『遠野物語』を中心とした▶民俗学▶妖怪関連▶東北の地場を知る▶東日本大震災関連——などの本

テーマ2

**自然とあそぼう**  
▶花▶木々▶森▶川▶海▶空▶天体——など、あらゆる自然環境のことを深く知るための本

テーマ3

**体を動かす**  
いろいろなスポーツや人体の仕組み、障がい、感染症を学べる本

テーマ4

**動物が好きな人へ**  
▶身近なペット▶野生動物▶古の生き物▶架空の生き物——などさまざまな生きとし生けるものに関する本

テーマ5

**まいにち**  
▶家族や友達▶学校や家庭での生活——など、子どもたちの日常に関する本

テーマ6

**食べる**  
▶食材▶料理▶食育関連本▶レシピ▶食を扱った物語——など、みんなに身近な「食べる」ことに関する本

テーマ7

**世界を見渡す**  
遠野から先に広がる日本や世界を知るための本と、各国の在日大使館から寄せられた本

テーマ8

**きれいなもの**  
▶絵画や彫刻などのアート▶音楽▶幾何学▶ファッション▶宝石——などの「きれい」を集めた本

テーマ9

**ものがたりと言葉**  
ずっと読み継がれている物語や詩歌など、言葉の重みや繊細さを感じてもらえるような本

テーマ10

**未来はどうなる？**  
▶歴史▶産業▶テクノロジー▶技術の進化——を知り、未来の社会や世界のありようを想像するための本



本棚6段目より上の本は展示用で固定されています。展示用と同じ本は、下の本棚に置いてあります。

テーマ11

**将来を考える**  
一人ひとりの子どもたちが、どんな大人になっていきたいのかを考えるための本

テーマ12

**生きること／死ぬこと**  
生きることや命を考えるきっかけとなるような、生と死を扱う▶絵本▶寓話▶物語▶詩——などの本

テーマ13

**こどもの近くにいる人へ**  
▶出産・子育て▶教育▶家族のありよう▶子どもとの距離感——など大人の悩みや考えごとに寄り添う本

● Interview ———— 本の森の蔵書約13,000冊の仕掛け人、選書・配架のプロに聞きました



ハッハ  
(株)BACH=東京都=代表取締役  
ブックディレクター  
よしたか  
幅 允孝さん

## 普段は手に取らないような一冊と出会ってほしい

絵本・児童文学・幼年童話を中心としながら、漫画作品や画集などあらゆる年齢層が楽しめる施設を目指し選書・配架しました。遠野の地場を大事にしていることも特徴のひとつです。テーマ1には「遠野と東北」があります。『遠野物語』をかつての話として閉じてしまうのではなく、現代の子どもたちがアクセスしやすい周縁本も集めています。妖怪や異世界の流れで鬼の本。そこには『鬼滅の刃』などというヒット作もありますね。現代は検索型

の世の中ですから、子どもたちは知っている本しか手に取らないことが多いのです。一冊の本が結び目を作ってどんどん好奇心が広がる。本のつらなりのような、知らない本に手を伸ばす機会を作ることになりました。本のおもしろいところは「同じ絵本でも二度と同じように読めない」こと。小さい頃に読んだ本でも、大人になって読み直すと違った響きがあります。ぜひ大人も、普段は手に取らないような一冊を開いてみてください。

# 本の森へ行く

本の森は、子どもも大人も楽しめる場所です。館内に置いてある本は全国から寄せられた寄贈本を中心に約13,000冊。たくさんの方がみなさんを迎えてくれます。

## 利用の流れ



大人だけでも  
利用できますよ！



### 01 予約

利用は、本の森ホームページで予約が必要です。予約に空きがあれば当日入館できます。



ホームページ



### 02 行く

予約日時に本の森へ。本の森駐車場は数が限られていますので、近隣の駐車場を活用し、家族で街中散策をしてみるのもいいかもしれません。



### 03 受付

本の森に到着したら、まずは1階の「インフォメーション」へ。▶予約者確認▶記名——など入館の手続きを済ませましょう。



### 06 退館

利用後は自由に退館できます。予約時間内は、外出して再入場することもできます。



### 05 返却

消毒作業をするため、読み終えた本は館内数カ所に設置されている専用の入れ物に返却します。



### 04 利用

館内の本は敷地内で自由に読むことができます。利用時間は1人90分まで。本の貸し出しはしていません。

本の森は本を読むだけじゃない

## 地域子育て支援拠点事業やイベントなど随時開催

本の森の施設運営は市が担い、(一財)遠野市教育文化振興財団と社会福祉法人遠野市保育協会に業務を委託。地域や事業所などとも連携し、事業を展開。読み聞かせなどの地域子育て支援拠点事業や、地域の文化を学ぶ生涯学習講座などを開催します。

### 【イベント情報】

本の森で各種催しを毎月開催します。  
■申し込み・問い合わせ ☎63-3003

①ようこそ！こども本の森へ 星空ベンチをつくろう / 日時▶8月21日(土)、9時半～12時 / 対象▶小学4年～6年 / 定員▶12人 / 申込期限▶8月13日(金)

②自然と触れ合う～シャボン玉で遊ぼう～ / 日時▶8月26日(木)、10時～12時 / 3歳未満児親子 / 申し込み▶不要(当日参加可)

③本の森ミニツアー&シアター / 出演▶ちゅんちゅん / 日時▶9月11日(土)、10時～11時 / 対象▶小学生以上対象(未就学児は保護者同伴で可) / 申込期限▶9月3日(金)

### ■本の森の運営体制



お待ちしております！



本の森スタッフ ▶

## 豊かな心を育む——。

入館した親子の嬉しそうな表情。  
真剣に本と向き合う子どもと大人。  
家族で仲良く一冊の本を読む姿。  
本の森には、あらゆる人の好奇心をかきたてるような本が配架されています。

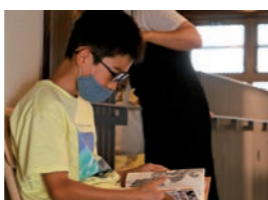
古民家を再生した本の森に、  
全国、世界から寄せられた心、  
たくさんの本が宿りました。  
木のぬくもりあふれる建物で思い思いに過ごし、  
本に出会うことができます。  
心に残る大切な一冊を探す絶好の場所です。

「本は宝。スマホの時間を半分にして、本を読ませる  
仕掛けが必要ではないか——」  
独学で建築を学び、何冊もの本を携え世界を巡る建築  
の旅を経験した安藤さんの思いのひとつです。  
「東北復興のシンボルは、子どもたちの未来である」  
「子どもたちの未来のために、本・読書が大事ではない  
か」と提唱しています。

開館にあたって安藤さんから、「こども本の森 遠野」  
で、たくさんの本を読みながら、過去を学び、今を考え、  
未来を想像してほしい」とメッセージが届いています。

スマホやゲームはいったん置いて、  
本の森に足を運んでみてはいかがでしょうか。

ここで過ごす時間、本との出会いはきっと、  
心の栄養に変わるはずです。



# 心を育む本の森




未来を担う子どもたちのために——。  
世界的建築家・安藤さんの思いが込められた本の森。  
子どもたちを思う心も全国から寄せられました。  
この場所から、どんな未来が広がっていくのでしょうか。

### 寄付の募集

本の森を将来にわたって運営する  
ため、全国から寄付金を募集して  
います。詳しくは本の森ホーム  
ページをご覧ください。



### 問い合わせ

市こども本の森運営企画室(☎63-3003)  
各種 SNSでも情報発信中 ▶▶   



## ● Voice

## —— 市民の声



こども本の森遠野を育てる会  
代表  
**木瀬 公二** さん =達曾部=  
(7月24日、市民有志約70人で会を発足)

箱はできるが育てていくのは市民ですという安藤さんの  
言葉があります。育てる会は、知恵を出し合い、本の  
森をいいものにしていこうとする会です。合言葉は「耕  
す」。自分にできること、それぞれの「クワ」を持って集  
まりましょう。子どもの心を耕し、水をまき芽が出て、  
世界を見渡すような大木に育ててほしいと思っています。



遠野北小学校図書ボランティア  
エプロン  
**木元 由枝** さん =東館町=  
(本の森のブックカバーコーティング作業  
の中心を担い、しおり2,500枚を寄贈)

本の森は里山です。手入れをして人を育てる施設だと  
思います。発展途上の未成年の脳は大人と違い、いろ  
んな経験が思考力のもとになると言われています。子  
どもたちには、本の森で自分の好きな本を見つけて、何  
回でも読んでほしいです。私たちが今後、音楽を取り入  
れた読み聞かせや本修繕のお手伝いできればと思います。



遠野高校2年  
**菊池 晴香** さん =附馬牛町=  
(新しい『遠野物語』を創るプロジェクトで  
「こども本の森 遠野」を探究中)

本を読むことが好きです。本から学ぶことがたくさん  
あるからです。他の人の考えを知ることができるので、  
自分の考えの幅が広がります。図書館は勉強を中心に静  
かに利用するイメージ。本の森は自由に本が読めて、遊  
び感覚で行きやすそう。たくさんの人が本を楽しみ、交  
流し、学び合える場所になってほしいです。



遠野町第5区自治会  
自治会長  
**松田 克之** さん =中央通り=

歴史ある旧三田屋が生まれ変わり、家族連れで賑わう  
様子を見て嬉しく思います。地域と商店街にも喜ばしい  
こと。遠野にはたくさんの歴史文化、観光資源がありま  
す。本の森を拠点に、たくさんの人が遠野を訪れて、広  
く市内観光も楽しんでもらえたらと思います。子ども  
たちには、いっぱい本を読んで大きく育ててほしいです。